海程

いのちと共に葡萄七粒の甘さ

兜太

熊谷に暮らして本当によかったと思いました。それは金子先生にお会いしたからです。

土の上で暮らす為に熊谷に移って来られた金子先生、それを決めて下さった奥様にただただ感謝です。

残念ながら奥様は七年前にお亡くなりになりましたが、奥様の愛された木々や草花はお庭の四季を彩り鳥や虫を呼び、金子先生の俳句に奥様への想いと共に度々登場しています。

ちょっと俳句でも…と金子先生の俳句教室に参加したのですが、そこは皆さんの熱気で一杯でした。「しまった」と思いましたが金子先生のお話の楽しいこと。金子先生が助詞を一文字変えるだけで私の下手な俳句に思いがこもってきます。驚きの連続でした。そして先輩の皆さんの俳句に飛び交う美しい日本語。それらを知る機会に巡り合えた事を嬉しく思いました。

こころを詠みなさい。「情（ふたりごころ）」を。生き物感覚だ。人間も生き物なのだよ。

私に響いた金子先生の言葉です。

悲しいこと、辛いこと、言葉を尽しても理解されない私の気持ち、そんなことを俳句にぶちまけてきました。もちろん、嬉しいことやちょっと自慢したいことも。五七五の十七文字は私の思いを平らにしてくれました。

あの日から空を向くくせ花霞

東日本大震災で全てを流された友人の俳句です。家族は無事でしたがそれを「よかった」と喜べず、辛いと言えず、悲しいと泣けない日々。俳句を勧めてみたのです。一年半を過ぎたくさんの俳句ができました。友人も踏み出す一歩を与えられたのです。今も指折り数えて言葉を捜していることでしょう。

長い長い間俳句の活動を続けてこられた金子先生が主宰されている「海程」という句誌があります。今年五十周年を迎えました。

「海程」の歴史は長く深く、先生の活躍はますます幅広いのです。

埼玉県立熊谷図書館、熊谷市立図書館に「海程」が置いてあります。是非一度手にとって見て下さい。「産土（うぶすな）」秩父を愛し、生き物により添い、五七五でできているとおっしゃる体で元気に活躍を続けられる金子先生の俳句に是非触れていただきたいと思います。

（N）

主宰する「海程」創刊５０周年記念で、あいさつする金子兜太先生。

㈱五大（斉藤孝一社長）様が、金子兜太先生の句を京都の宮脇賣扇庵で調製されたお品です。

熊谷にお住まいの 金子兜太 先生 をお訪ねして

ご自宅の庭で　　金子兜太先生

『荒凡夫』

「タウンタウン小麦」の前号に）登場頂いた、日本美術院同人の大野百樹先生のお宅から通り一つを隔てた所に金子兜太先生の御住まいがある。先住人の大野先生がお世話をして現在のご住居があるとの事。東京オリンピックの年であった。金子先生の句会、熊谷医師会俳句同好会に加盟している小麦の会会員と二人で初秋の午後、訪問させて頂いた。

埼玉県小川町で父元春、母はるの長男として生を受け医師（京都府立医大卒）であった父の勤務地、上海で三歳―五歳を過ごされ、父親の故郷、秩父の皆野町に生活の場を移された。父は「伊昔紅」の俳号を持つ俳人でもあられた。熊谷中学、水戸高等学校、東京帝国大学経済学部を卒業、日本銀行に入行された。

秩父での幼少期、特に記憶に残るのは、父親の主催する句会に集る、三十代、四十代の男性達（当時女性はいなかった）は〝知的野生〟に富んだ魅力的な男達であった。当時の村民の暮らしは厳しく、次男、三男は食べるのも侭ならず、多くは秩父の養蚕に生計を求めていた。労働の汗の後、峠を越えて句会に集ってくる。鬱憤の晴らし場所としても句会が役に立っていた様に思えると、金子先生は当時を振り返る。秩父には秩父音頭の七五調が住民の体に染み込んでいる。そこに加えて父親、伊昔紅の主催する句会の五七調に染まる。育った環境が金子兜太を〝俳句人間〟として作り上げていった。小林一茶、種田山頭火の読み解きを通しての、生き物感覚での俳句。自由で平凡でありたいと人間の原境志向を模索していった。

「銀行員等朝より蛍光す烏賊のごとく」（金子兜太句集）金子先生が日本銀行におられる時と、お聞きしている。小気味の良い程、瞬間を感じさせ、この句と共に金子先生は遙か彼方より憧れの的であった。熊谷に先生のような俳人がお住まい下さっている事は本当に宝だ。熊谷在住を勧められたのは奥様の皆子様と伺った。「土の上に住まないとダメになる」と東京のマンション住まいを決めかけていた矢先、現在の住居にお決めになられたとの由。インタビューの最中、縁側の先に繋がる庭を眺めながら「この土地を見ていると、秩父に繋がっているかと思い、恋しくなるんだ」と金子先生が呟く。是非とも熊谷にお住まい続けて下さるようお願い申し上げ、去り難い帰路となった。九月二十三日で九十三歳になられた先生は、少年のような好奇心に輝いておられた。

（H）

【プロフィール】

1919年　小川町で生まれる
　　旧制熊谷中学、旧制水戸高等学校卒業
　　東京帝国大学経済学部入学
1943年　大学を繰り上げ卒業日本銀行へ入行
1955年　日本ペンクラブ会員
1974年　日本銀行を退職
1983年　現代俳句教会会長
1987年　朝日俳壇選者
1987年　朝日俳壇選者
2005年　日本芸術院会員

【受賞】

1956年　第５回現代俳句協会賞
1978年　埼玉県文化省
1988年　紫綬褒章
1996年　詩歌文学館賞
1997年　NHK放送文化賞
2002年　蛇笏賞
2003年　日本芸術院賞
2005年　第２回シカダ賞
2008年　正岡子規国際俳句大賞（日本人初）
2010年　第51回毎日芸術賞特別賞
　　第２回小野市詩歌文学賞
　　第58回菊池寛賞

熊谷商工信用組合　本店

10/15 新築オープン！！

特別企画展　「文学のまち・くまがや展」

来年１月26日（土）から、市立図書館100周年記念事業として「文学のまち・くまがや展」が開催されます。記念講演会が開かれます。熊谷文化会館にお出掛け頂き、美術展示室の企画展をご鑑賞頂き、金子先生のお話をお聞きできる素晴らしいチャンスです。

予定表に赤丸で記入して是非ご参加下さい。

金子兜太先生の講演会が２月10日開催されます。

２月　３日（日）　森村誠一先生
２月10日（日）　金子兜太先生

■会場　　熊谷市立文化センター文化会館
　　TEL:048-525-4553
　　熊谷市桜木町2-33-2
■入場無料

熊谷医師会俳句同好会　講師　金子兜太先生

熊谷市医師会俳句同好会が誕生したのは平成１６年の秋のことである。医師会の役員を歴任されている田村元良先生とその奥様のご努力で２９名の会員でスタートした。特に田村夫人は長く金子兜太先生に師事されており、素人集団の中で会の運営や句会の進行まですべてにご苦労をおかけしている。夜の句会（月１回）のため金子先生には中々お目にかかることはできないが、金子先生が指名してくださり内野先生に各月でご指導を頂いている。

無我夢中で続けているうちに俳句というか日本語の持つ言葉の豊かさ美しさも少しは理解できてきたように思える。

金子兜太先生には益々お元気でご活躍いただきたい。我々孫弟子の心からの願いである。

熊谷市医師会俳句同好会
副会長　大島譲二

八木橋友の会俳句教室　講師　金子兜太先生

この教室をお忙しい金子先生が受け持たれてから３０年が過ぎました。常に４０名程の受講生が居り、県外からも来て居ります。

短い故に人真似に陥り易い俳句ですが「自由に作りなさい」。と仰る先生の下、宿題の同じ季語でも、人夫々に違った作品が生まれ、勉強になりますし面白いです。１回１回が待ち遠しく、今では大切な時間となりました。

この間先生には、芸術院会員や文化功労者になられ、正に俳句界の宝であります。

９３歳のいまも「日々新たなり」。は先生ご自身のこと。とても追い着けません。

名誉市民ですので、地元の皆様どんどん兜太選に触れようではありませんか。きっと別な発見があることと思います。

会員　篠田悦子

常光院（俳句寺）

上中条にある常光院は、現住職の小久保彰氏で四代、八百年以上の歴史ある古刹です。住職の叔父の宇咲冬男氏が年二回句会を開き、境内には誰でも投句できる投句箱が置かれ立春、立夏、立秋、立冬の朝、箱が開かれ「天・地・人」三句が宇咲氏により選ばれ本堂の回廊に掲げてあります。これからはインターネットでの投句も考えているようです。

俳句寺といわれるように境内には宇咲・金子両氏の句碑をはじめ芭蕉翁三百年忌を偲ぶ連句碑や三十六歌仙の句碑など大小の句碑ながら吟行する人が多くみられるとのことです。また、毎年十三夜の夜に「後月見の会」と称して観月会を開催しています。

今年は十月二十七日（土）午後四時半ころから拝月法要の後、野点やミニコンサートなど予定し、参道には行燈も置かれ風雅しのびつつひとときを楽しめるそうです。誰でも自由に参加できます。（K）

（住所）熊谷市上中条１１６０

埼玉県製菓専門学校
熊谷市籠原南2丁目160番地

森歯科診療所
Mori Dental Clinic
「ご来院の方の目線」で、お互いに納得のできる医療を心がけていきます。
埼玉県熊谷市鎌倉町30
048-521-2205

診療時間
月・火・水・金　9:00～12:30　14:30～18:30
土　9:00～12:30　14:30～18:00
休診日　木・日・祝日

パリス パン店
地域と歩むパン屋さん
営業時間・7時～18時
日・祝定休

電話522－3388
宮前町１－１（上熊谷駅前。駐車場３台あり）
「くまがや小麦の会商品取扱店」

"あなたのブレーン"
前嶋修身税理士事務所
私たちは皆様のブレーン、そして皆様の事業のサポーターになることを目指しています。

TEL.048-526-0811
FAX.048-524-8522
〒360-0018 埼玉県熊谷市中央1-218
http://www.kaikei-home.com/maejima/

株式会社 平松
歴史が育む無限の可能性…地域密着・食品卸売業
原材料食品は包材まで御用命下さい
We are HIRAMATSU

代表取締役　目向研一朗
〒360-0801
埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL：048-521-0026
●ビッグベアショッピングモール（埼玉県熊谷市代1067）
・西友・トイザらス・スポーツオーソリティー・ブルームーンカフェ・大黒屋
●平松運輸株式会社（埼玉県熊谷市中奈良1797-1）

くぼじまグループ
くぼじまクリニック
KUBOJIMA CLINIC
理事長・院長　大島譲二
●総合内科（かかりつけ医）
●人工透析
熊谷運動公園北・入院設備有
〒360-0831　熊谷市久保島 1785-2
TEL:048-533-7511（代）FAX:048-533-4606
http://www.kubojima.com/

吉田・櫻井税理士法人
税理士 吉田 嘉高
税理士 吉田 貴之　税理士 櫻井 富美子
〒360-0014　熊谷市箱田2-2-8
TEL 048-521-0334 FAX 048-521-4506